

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	日常生活の中でスタッフ一人ひとりが、会話・表情・行動から入居者の希望・意向を引き出すように努めているが、スタッフが思う入居者の希望・意向になっている場合がある。	スタッフが作り上げた入居者の希望・意向にならないよう、スタッフ全員が一人ひとりの入居者を理解し、入居者本人の希望や意向になるようにしていく。	入居者からの合図を見逃すことのないよう、日常生活の中の会話・表情・行動をしっかり観察する。小さな事でも気づいたことは、気づきノートやケース記録へ記入し、送りやミーティングなどで話し合う。	6か月
2	2	行事参加等での交流は図れているが、グループホームや認知症について理解していない地域の方が多い。	地域の方々に、グループホームや認知症についての理解を深めてもらえるように働きかけ、今まで以上に交流を図れるようにしていく。	平田地区行事への参加 もみじ苑行事への参加の呼びかけ もみじ苑だよりの配布 勉強会の開催	12か月
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。